

第66回火山噴火予知連絡会議事録

日 時：平成6年6月3日(金) 13時10分～17時20分

場 所：気象庁 第1会議室

出席者：会 長：井田

委 員：茂木, 荒牧, 岡田, 浜口, 野津, 藤井(直), 渡辺, 鍵山, 平林, 中川, 山下,
藤井(友), 曾屋, 多田, 大島, 熊谷, 宝来, 手塚, 鈴置, 栗原

臨時委員：清水(九大・島原), 中田(九大・理), 石原(京大・桜島)

名誉顧問：下鶴

オブザーバー：小林(京大), 松村(科技厅), 森(国土庁), 須藤(地調), 小白井・平井
(地理院), 渡辺(水路部), 月成(消防庁), 山里・小宮(気象研), 小嶋
(地磁気), 山本・吉田・内池・立山・中禮(気象庁), 神林(東京管区)

庶 務：濱田, 西出, 芥藤, 西脇, 土井, 北川, 高橋, 久保, 中村

○議事に先立ち栗原委員から関係機関の委員の交代(下記)及び臨時委員の紹介があった。

気象研究所地震火山部長 清野政明から宝来帰一

気象庁地震火山部長 津村建四朗から鈴置哲朗

気象庁地震火山業務課長 森俊雄から栗原隆治

気象庁火山対策室長 吉田弘から濱田信生(事務局)

1. 火山活動の報告と評価

雲仙岳, 雌阿寒岳, 十勝岳, 倶多楽, 樽前山, 有珠山, 北海道駒ヶ岳, 秋田駒ヶ岳, 吾妻山, 安達太良山, 磐梯山, 草津白根山, 浅間山, 新潟焼山, 弥陀ヶ原, 焼岳, 乗鞍岳, 御嶽山, 富士山, 箱根山, 伊豆東部火山群, 伊豆大島, 新島・神津島, 海底火山, 阿蘇山, 桜島, 開聞岳, 諏訪之瀬島, 南西諸島等について各委員・機関から観測データ等の報告があり, 活動の評価等を行った。以下主な火山についての概要を示す。

1) 雲仙岳

ワーキンググループの報告と前回(2月7日)以降の火山活動について評価を行い, 統一見解をまとめた。

2) 草津白根山

時々湯釜の火口で変色水が観測された。

3) 御嶽山

昨年の3月以降南南東約10km付近の地震が多発し震源域が広がっている。

4) 富士山

低周波地震が5月に発生している。

5) 箱根山

5月18日に群発地震があった。

6) 伊豆東部火山群

2月下旬から3月上旬に城ヶ崎沖で地震が多発し、27日に有感地震があった。3月に大室山の西約3 kmで微小地震やや増加。

重力及び地殻変動観測で、内陸部の隆起に伴う変化があった。

7) 伊豆大島

4月から西方海域で地震増加。下旬島内有感の地震があり、5月大島の北側に地震が増加。

8) 新島・神津島

新島・神津島付近に地震が群発している。火山活動と直接関わる兆候はない。

9) 阿蘇山

3月下旬に噴湯現象を始め、5月に土砂噴を行っている。4月火山性地震が増加。

10) 桜島

今年に入って活動が静かな状態であったが、5月に入って噴煙活動が活発化している。

11) 開聞岳

5月27日に北東約15 km付近に地震多発。

12) 諏訪之瀬島

時々噴火するなど、引き続き活発な状態が続いている。

2. その他

- 1) 伊豆部会の委員の追加及び部会長の交代について
- 2) 火山噴火予知連絡会20周年に向けての刊行物について
- 3) 火山噴火予知連絡会運営要綱の改正について

3. 記者説明

17時35分から気象庁講堂にて、井田会長、栗原地震火山業務課長、濱田火山対策室長、清水臨時委員(九大・島原)、中田臨時委員(九大・理)が、雲仙岳の火山活動に関する統一見解の発表及び火山噴火予知連絡会の会議の概要を説明した。